

定期テスト対策 Ⅲ 標準編 Ⅲ

単元1 世界の古代文明と宗教のおこり～
単元4 古代国家の歩みと東アジア世界(2)

得点

／100点

教科書 P.20～51

実施時間のめやす⇒25分

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.20～29

((1)～(3)各2点、他各4点)

最初の人類である□A□が誕生したのは、今から約700万～600万年前といわれている。人類はしだいに進化し、今から約20万年前には、私たちの直接の祖先となる□B□が現れた。狩りや採集をして移動しながら暮らしていたこの時代は、^a旧石器時代とよばれている。やがて、農耕や牧畜が始まると人々の生活は安定し、人々は同じ場所で暮らすようになった。この時代を^b新石器時代という。

^c紀元前3000年ごろから、大河の流域で文明が発達した。各文明では、巨大な建造物がつくられ、文字も使われた。その後、^d中国では国ができては滅び、ギリシャや^eローマでも文明が発達した。また、7世紀までに、現在も世界で信仰されている^f三大宗教も生まれた。

□(1) □A・Bにあてはまる語句を次からそれぞれ選び、答えなさい。

□ [新人 ^{えんじん}猿人 原人] A() B()

□(2) 下線部^a、^bの時代に使われるようになった道具を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□ ア 青銅器 イ 磨製石器 ウ 打製石器 エ 鉄器 ^a() ^b()

□(3) 下線部^cについて、次の①・②の川の流域で発生した文明を答えなさい。また、それぞれの文明に関係の深いものをあとのア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□ ① ナイル川 ② チグリス川・ユーフラテス川
□ ア くさび形文字 イ ^{こうこつ}甲骨文字 ウ インダス文字 エ ^{しょうけい}象形文字
□ ①() 文明)・() ②() 文明)・()

□(4) 下線部^dについて、紀元前221年に中国を統一した秦の皇帝で、長さ・容積・重さの基準や、文字、貨幣の統一を行った人物はだれか。 ()

□(5) 下線部^eについて、地中海全域を支配したローマ帝国でつくられたものを次から選び、記号で答えなさい。
□ ア ピラミッド イ コロッセオ ウ ジググラト エ パルテノン神殿 ()

□(6) 下線部^fについて、シャカ(釈迦)が開いた宗教を何というか。 ()

2 次の日本の時代区分について、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.30～35

((5)各2点、他各4点)

A 旧石器時代 → B ^{じゅうもん}縄文時代 → C ^{やよい}弥生時代 → D ^{こふん}古墳時代

□(1) Aの時代に使われていた打製石器が発見された、群馬県の遺跡名を答えなさい。 ()

□(2) Bの時代の人々が食べかすなどを捨てた跡を何というか。 ()

□(3) Bの時代の末ごろに九州に伝わり、Cの時代には東北地方まで広まった農業は何か。 ()

□(4) Dの時代に、奈良盆地に近畿地方の強力な王と有力な豪族が構成する勢力が現れた。これを何というか。 ()

□(5) 次のア～エは、A～Dの時代区分について述べたものである。A～Dの時代にあてはまるものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□ ア むらや国ができ始めた。 イ 大陸から漢字や儒学、^{じゅがく}仏教が伝えられた。
□ ウ マンモスやナウマンゾウの狩りを行っていた。 エ 土器を煮炊きに使う習慣が広まり始めた。
□ A() B() C() D()

3 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.36～41

(各3点)

- (1) A・Cにあてはまる中国の王朝名をそれぞれ答えなさい。

年代	できごと
589	<input type="checkbox"/> A が中国を統一する
593	聖徳太子(厩戸皇子)が政治に参加する…………… B
618	<input type="checkbox"/> C が中国を統一する
645	大化の改新が始まる…………… D
672	<input type="checkbox"/> E がおこる
701	大宝律令が出される…………… F
710	<input type="checkbox"/> G に都を移す

A ()
C ()

- (2) Bの聖徳太子が行った政治に関して述べた次の文について、 X に共通してあてはまる地位をあとのア～エから選び、記号で答えなさい。また、 Y・Zにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

聖徳太子は、 X を頂点とする政治を目指し、役人の心構えとして、 X の命令に従うことなどを定めた Y を定めた。また、有能な人を役人に取り立てるために、 Z の制度を取り入れた。

ア 豪族 イ 大王(天皇)
ウ 貴族 エ 国司

X () Y () Z ()

- (3) Dの改革を中心となって進めた人物を2人答えなさい。 () ()
- (4) E にあてはまる、天智天皇のあとつぎをめぐる争いを答えなさい。 ()
- (5) Fにより、日本では律令に基づいた政治が行われるようになった。このような国家を何というか。 ()
- (6) G にあてはまる語句を答えなさい。 ()

4 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.42～51

(各2点)

I 朝廷は戸籍に基づき6歳以上の男女に決まった広さの農地をあたえ、①人々は様々な税、②労役、③兵役を負担した。743年には、朝廷は農地を増やすために④開墾を奨励する命令を出した。

II 794年に都が⑤平安京に移され、律令政治の立て直しがはかられた。やがて⑥政治の実権は、ほかの貴族をたくみに退けた藤原氏の手に移った。このころ、⑦仮名文字がつくられ、国風文化が発達した。

- (1) 下線部①について、次の文にあてはまる、この時代の農民が負担した税や兵役をそれぞれ答えなさい。
- X 収穫量の約3%の稲を納める。 X ()
- Y 地方の特産物を都まで運んで納める。 Y ()
- Z 一定期間、九州北部を守る兵士となる。 Z ()
- (2) 下線部②を何というか。 ()
- (3) 下線部③のころ、⑧国分寺の中心として都につくられ、大仏が置かれた寺院を何というか。 ()
- (4) 下線部⑤について、都を平安京に移した天皇はだれか。 ()
- (5) 下線部⑥のころ、東北地方の蝦夷を支配するために、朝廷から征夷大將軍に任じられたのはだれか。 ()
- (6) 下線部⑦について、藤原氏は、⑨摂政や⑩関白の地位を独占し、天皇にかわって政治を行った。このような政治を何というか。 ()
- (7) 下線部⑤について、⑪紀貫之らが編集した和歌集を何というか。 ()

定期テスト対策 Ⅲ 応用編 Ⅲ

単元1 世界の古代文明と宗教のおこり～
単元4 古代国家の歩みと東アジア世界(2)

得点

/100点

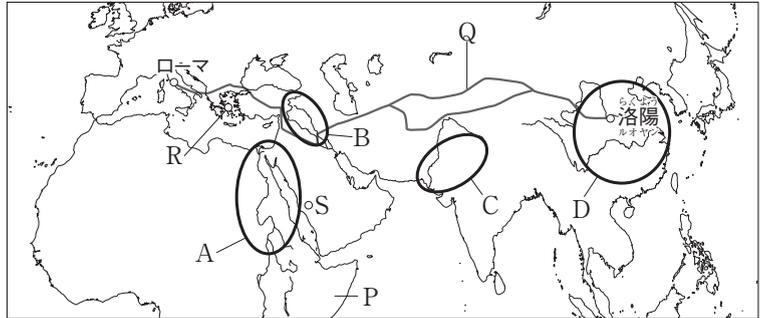
教科書 P.20~51

実施時間のめやす⇒30分

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.20~29

((3)各2点, 他各4点)

- (1) 地図中のPの大陸では、約20万年前に、私たちの直接の祖先である新人が誕生した。新人について正しく述べたものを次から選び、記号で答えなさい。



- ア 初めて打製石器を使うようになった。
イ ラスコの洞窟の壁画を描いた。
ウ Pに出現した最古の人類である。

()

- (2) 古代文明が地図中のA~Dの地域で発生したのはなぜか。簡単に説明しなさい。

()

- (3) 地図中のDの地域にできた国を次のように年代の古い順に示すとき、①~④にあてはまる国をあとのア~エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(①) → (②) → 春秋・戦国時代 → (③) → (④)

ア 秦 イ 周 ウ 殷 エ 漢 ①() ②() ③() ④()

- (4) 地図中のQは、2世紀ごろに(3)④の国とローマ帝国を結んでいた交易路である。この交易路を通じて、(3)④の国からローマ帝国に運ばれたものは何か。

()

- (5) 地図中のRでは、紀元前8世紀ごろに多くの都市国家が生まれた。この都市国家を何というか。

()

- (6) 地図中のSで三大宗教の1つを開いた人物はだれか。

()

2 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.30~35

((5)各2点, 他各4点)

- (1) 資料Iの土器を何というか。I

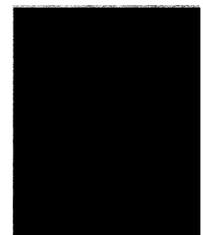
()

- (2) 資料Iの土器がつくられるようになった時代に関係の深いものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 土偶 イ 石包丁 ウ 須恵器 エ 吉野ヶ里遺跡



III
倭人の国は多くの国に分かれている。そのなかで、最も強い□は、30ほどの小国をしたがえて、女王の卑弥呼が治めている。



- (3) 資料IIのように、銅とすずをとくして混ぜ合わせてつくった金属器を何というか。()

- (4) 資料IIが日本に伝えられた時代には、むらに有力な指導者が現れるようになった。この時代にこうした指導者が現れた理由を、Iが使われた時代の食料を得る手段との違いから、説明しなさい。

()

- (5) 資料IIIの□にあてはまる国の名を答えなさい。また、IIIは中国の何という国の歴史書の一部か。

□ 国() 歴史書の国()

- (6) 資料IVのような形をした王・豪族の墓を特に何というか。また、資料IVのような墓の上に置かれた、人々などの形をした素焼きの土製品を何というか。 墓() 土製品()

3 次のA～Cの文を読んで、あとの問いに答えなさい。⇨教科書P.36～41 (2)各3点, 他各4点

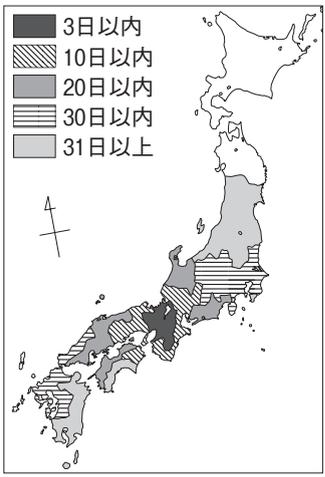
- A 聖徳太子(厩戸皇子)は、蘇我馬子とともに政治を進め、^a十七条の憲法を定めたり、冠位十二階の制度を取り入れたりした。また、^b中国に使節を送り、中国の政治や文化などを学ばせた。
- B 中大兄皇子と中臣鎌足は、蘇我氏を滅ぼし、^c政治の改革を進めた。
- C 710年、唐の長安にならって^d平城京がつくられ、784年に長岡京に移るまで都となった。

- (1) 右の史料は、下線部^aの一部を示している。史料から、聖徳太子はどのような政治のしくみを目指していたことが読み取れるか、簡単に説明しなさい。
()
- (2) 下線部^bの使節を何というか。また、このとき使節として派遣された人物を答えなさい。
使節() 人物()
- (3) 下線部^cについて、この改革の方針となった公地・公民とはどのような内容か、簡単に説明しなさい。
()
- (4) 下線部^dは、現在のどこにつくられた都か。都道府県名を答えなさい。()

三に曰く、詔をうけたまわりては必ずつつしめ。

4 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。⇨教科書P.42～51 (5)各3点, 他各4点

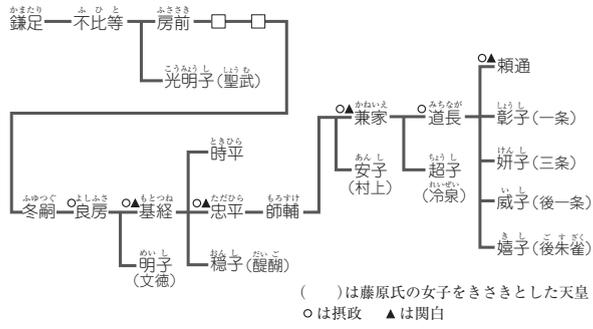
- (1) Aについて、右の資料は、調・庸の都への運搬日数を示している。資料から、人ほど、庸や調の負担が大きかったことがわかる。にあてはまる内容を簡単に書きなさい。
()



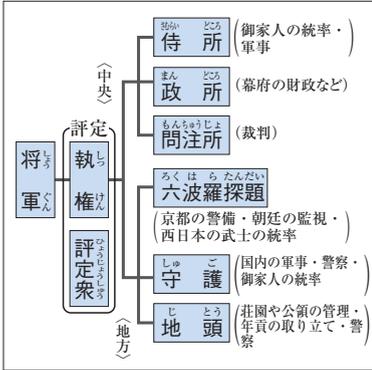
年代	できごと
701	大宝律令が出される…………… A
713	国ごとに <input type="text"/> Bをつくる命令が出される
741	国ごとに国分寺・国分尼寺を建立する命令が出される…………… C
752	東大寺の大仏が完成する…………… D
794	平安京に都を移す…………… E
1016	藤原道長が摂政になる…………… F

- (2) Bには、全国の国ごとにつくられた、自然や地理などを記した書物があてはまる。これを何というか。
()
- (3) Cが行われた目的を次から選び、記号で答えなさい。
ア 都での仏教寺院の勢力を抑えるため。 イ 仏教を朝廷の役人に広く信仰させるため。
ウ 国司が仕事を行うための場所をつくるため。 エ 仏教によって、国の政治や社会を安定させるため。
- (4) Dのころ、唐から何度も遭難しながら来日し、日本に正式な仏教の教えを伝えた僧はだれか。
()

- (5) Eのころ、唐に渡り仏教を学んだ ①は、帰国後、比叡山に延暦寺を開き、 ②宗を広めた。 ①・②にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。
①() ②()



- (6) 右の資料は、Fの藤原氏の系図である。藤原氏は、どのようにして朝廷の高い地位を独占したのか。資料を見て、簡単に答えなさい。()
- (7) Fのころに書かれた「源氏物語」の作者を答えなさい。()



▲A鎌倉幕府のしくみ

▲B北条政子の訴え

(あずまがたの 吾妻鏡)

みなもの者、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。みなそれぞれに報いたいという志はきつと浅くないはず。名誉を大事にする者は、ただちに逆臣をうち取り、幕府を守りなさい。

- 一 諸国の守護の職務は、頼朝公の時代に定められたように、京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。
- 一 武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める。
- 一 女性が養子をとることは、律令では許されていないが、頼朝公のとき以来現在に至るまで、子どものない女性が土地を養子にゆずりあたえる事例は、武士の慣習として数え切れない。

1 武士の成長 (図表のワーク①~④) 教科書 P.64・65

▲C御成敗式目(貞永式目)

- 武士の登場…地方の豪族や都の武官の中から武士がおこった。地方の武士は多くの家来を従えて武士団を形成。10世紀中ごろ、平将門が北関東で、藤原純友が瀬戸内地方で、周辺の武士団を率いて反乱をおこした。
- 武士の成長…武士団のうち、源氏と平氏が有力に。源義家は東北地方の戦乱をしずめ、源氏が東日本に勢力拡大。奥州藤原氏が平泉(岩手県)を拠点に東北地方に勢力。平氏は西日本に勢力拡大。地方の武士らが開発した荘園は皇族・貴族・寺社が領主となり、武士らは農民から年貢を取り立てる。公領でも武士が年貢の取り立て。米・布・絹など 国司が支配する荘園以外の土地

2 院政から武士の政権へ (図表のワーク⑤~⑩) 教科書 P.66・67

- 院政と武士…藤原氏と関係のうすい後三条天皇が位に就く→白河天皇が上皇となって院政を開始→鳥羽上皇が寺社を厚く保護→保元の乱と平治の乱がおこる→平清盛が源義朝を破る。
- 源平の争乱…平清盛は太政大臣となり、兵庫(神戸市)の港を整備して日宋貿易→清盛が後白河上皇の院政を停止→源頼朝や源義仲などが平氏に対して挙兵→頼朝は源義経を送り平氏を壇ノ浦で滅ぼす(壇ノ浦の戦い)。

3 鎌倉幕府の成立と執権政治 (図表のワーク⑪~⑱) 教科書 P.68・69

- 鎌倉幕府…頼朝は国ごとに守護、荘園・公領ごとに地頭を置く→鎌倉幕府の成立(鎌倉時代の始まり)→源義経と奥州藤原氏を攻め滅ぼす→征夷大将軍に任じられる。将軍と御家人とは、御恩と奉公による主従関係。
- 執権政治…頼朝の死後、北条時政が実権をにぎり、北条氏が執権を代々独占(執権政治)→第3代将軍源実朝の暗殺→後鳥羽上皇が挙兵(承久の乱)→幕府はこれをしずめ、京都に六波羅探題を置く→北条泰時が政治の判断の基準となる御成敗式目(貞永式目)を制定。

4 武士と民衆の生活 (図表のワーク⑳~㉒) 教科書 P.70・71

- 地頭の支配…地頭に任じられた武士は簡素な屋敷に住み、武芸の訓練を行い「弓馬の道」「武士の道」を追究。領地は女子にも分割相続。幕府は地頭と領主の争いを下地中分で解決。土地の半分を地頭にあたえる
- 農業と商業…牛馬が農作業に利用され、草木の灰が肥料とされ、三毛作が行われた。寺社の門前や交通の要地で定期市が開かれた。

5 鎌倉時代の文化と宗教 (図表のワーク㉓~㉔) 教科書 P.72・73

- 鎌倉文化…武士の好みを反映した写実的で力強い文化。

- 東大寺南大門が再建され、運慶らの金剛力士像を収める。
- 「新古今和歌集」(藤原定家、西行など)や「方丈記」(鴨長明)。「平家物語」(琵琶法師が語る)。「徒然草」(兼好法師)。写実的な似絵。

- 鎌倉仏教…わかりやすく、実行しやすい教えが広まった。神への信仰を仏教に取りこむ神仏習合も広まる

宗派	開祖	特色	
念仏を唱える	浄土宗	法然	浄土信仰の教えを徹底
	浄土真宗	親鸞	阿彌陀如来を信じる心
	時宗	一遍	踊念仏、念仏の札
日蓮宗(法華宗)	日蓮	法華經の題目を唱える	
禅宗	臨済宗	栄西	坐禅により自分の力で
	曹洞宗	道元	さとりを開く

▲D鎌倉時代の新しい仏教

☑ 図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

世紀	武士の登場と成長
10	<p>地方の豪族や都の武官の中から、武士がおこる→武士団を形成</p> <p>北関東で① 瀬戸内で②</p> <p>東日本の③ 西日本の④</p> <p>が反乱→武士の台頭→ が有力な武士団</p>
11	<p>⑤ …白河上皇や鳥羽上皇が摂政や関白をおさえて政治。⑥ が上皇のもとに集まる</p>
12	<p>保元の乱と⑦の乱→源義朝を破った⑧が勢力を広げた</p> <p>平氏の政権 …⑧は武士として初めて太政大臣に任じられた→⑨(神戸市)の港を整備し、 中国の宋との貿易で利益を上げた</p> <p>源平の争乱 …平氏に対する反感が高まり、諸国の武士たちが挙兵 →平氏は⑩によって、壇ノ浦で滅ぼされた</p> <p>鎌倉幕府の成立</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩の兄の⑪は、国ごとに⑫を、荘園や公領ごとに⑬を置いた ⑪は、⑩と⑭を拠点としていた奥州藤原氏を滅ぼした ⑪は征夷大將軍に任じられ、役所を整備 →將軍と御家人の間に⑮と奉公の主従関係 <p>⑪の死後、北条時政が実権をにぎった →⑯の地位を独占した北条氏が勢力を拡大</p> <p>⑰の乱…後鳥羽上皇が挙兵→幕府の勝利 →幕府は京都に⑱を設置</p> <p>執権政治の確立 …北条泰時は政治の判断の基準となる ⑲を制定</p>
	<p>武士の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑬と領主の間に争い→幕府は土地の半分を⑬にあたる下地中分で解決 武士は「⑲の道」や「武士の道」を重視 <p>民衆の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業に牛や馬を利用 草木を焼いた灰を肥料に使用 同じ田畑で米と麦を交互につくる⑲が始まった 寺社の門前や交通の要地で⑲が開かれるようになった

▼鎌倉文化

文学	<p>「⑳」…藤原定家・西行など</p> <p>「㉑」…琵琶法師によって語り伝えられた</p> <p>「㉒」…兼好法師の随筆</p>
建築	<p>東大寺南大門の再建…宋の様式を取り入れた</p>
彫刻	<p>金剛力士像…㉓らが制作</p>
絵画	<p>肖像画…似絵</p>

▼鎌倉仏教

	宗派	開祖
念仏を唱える	㉔宗	法然
	浄土真宗	㉕
	時宗	㉖
禅宗	㉗宗	日蓮
	㉘宗	栄西 曹洞宗
		㉙

確認問題

→ 類題演習 P.76

① 武士の成長 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 地方の武士は、多くの家来を従えて□□を形成していった。()
- (2) 10世紀中ごろ、北関東では□①□が、瀬戸内地方では□②□が反乱をおこした。
□
①() ②()
- (3) 11世紀後半、東北地方で大きな戦乱がおこったが、源氏の□□がこれをしずめた。()
- (4) 東北地方では、平泉(岩手県)を拠点として□□氏が勢力を強めた。()

② 院政から武士の政権へ 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 1086年、白河天皇は位をゆずって上皇になり、□□を始めた。()
- (2) 12世紀半ば、京都で□①□がおこり、この内乱で源義朝を破った□②□が勢力を広げた。
□
①() ②()
- (3) (2)②は中国の宋との貿易を進めるため、□□の港を整備した。()
- (4) 平氏に対抗して兵を挙げた源頼朝は、弟の□□を送って平氏を攻めさせた。()

③ 鎌倉幕府の成立と執権政治 次の問いに答えなさい。

- (1) 国ごとの軍事・警察を担当する役人を何というか。()
- (2) 荘園や公領の管理や年貢の取り立てを行う役人を何というか。()
- (3) 本格的な武士の政権を築き、1192年に征夷大將軍に任じられた人物はだれか。()
- (4) 將軍が、御家人が以前から所有していた領地を保護したり、新しい領地をあたえたりしたことを何というか。()
- (5) 將軍の力を弱めて幕府の実権をにぎった北条氏が独占した地位は何か。()
- (6) 1221年に後鳥羽上皇が拳兵して、幕府軍に敗れたできごとを何というか。()
- (7) (6)の後、朝廷を監視するため、幕府が京都に設置した役所を何というか。()
- (8) 1232年、北条泰時は政治の判断の基準を何という法令に定めたか。()

④ 武士と民衆の生活 次の文中の□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 地頭と領主との間にしばしば争いがおこった結果、土地の半分を地頭にあたえる□□という裁定が下されることもあった。()
- (2) 同じ田畑で米と麦を交互につくる□□が行われるようになった。()
- (3) 寺社の門前や交通の要地では、□□が開かれるようになった。()

⑤ 鎌倉時代の文化と宗教 次の問いに答えなさい。

- (1) 後鳥羽上皇の命令で編集され、藤原定家や西行らの歌を収めた和歌集を何というか。()
- (2) 東大寺南大門に収められている金剛力士像を制作したのはだれか。()
- (3) 琵琶法師によって語り伝えられた、武士の活躍を描いた文学を何というか。()
- (4) 一心に念仏を唱えることを説き、浄土宗を開いた僧はだれか。()
- (5) 法華経の題目を唱えれば人も国家も救われると説いた僧はだれか。()
- (6) 栄西や道元が伝えた、座禅により自力でさとりを開こうとする宗派を何というか。()

練習問題

1 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 年表中の□①～③にあてはまる
□ 役職名をそれぞれ答えなさい。

- (2) 年表中のAの□にあてはまる政
治の名称を答えなさい。

- (3) Aと同じころから平泉(岩手県)を拠
点として栄えた武士団は何氏か。

- (4) 年表中のBの3年後におこり、平清
盛が源義朝を破った戦乱を何というか。

- (5) 年表中のCについて、平清盛は中国
の何という国との貿易を進めたか。次
から選びなさい。

[唐 魏 宋 隋]

- (6) 年表中のDについて、壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした人物はだれか。

- (7) 年表中のDと同じ年に、源頼朝が国ごとに置き、軍事や警察にあたらせた役職
を何というか。

- (8) 年表中のEについて、源頼朝に忠誠を誓った武士を何とよんだか。

- (9) 年表中のFののち、幕府が京都に設置して、朝廷の監視や西日本の武士の統率
にあたらせた役所を何というか。

- (10) 年表中のGを制定した人物を、次から選び、記号で答えなさい。

ア 北条政子 イ 北条時政 ウ 北条泰時

年代	できごと
935	平将門が反乱をおこす
1086	白河上皇の□が始まる … A
1156	保元の乱がおこる …… B
1167	平清盛が□①になる …… C
1185	平氏が滅びる …… D
1192	源頼朝が□②になる …… E ↓北条氏が□③の地位に就く
1221	承久の乱がおこる …… F
1232	御成敗式目が制定される …… G

1 学習のまとめ ①～③

(1) ①

②

③

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

2 学習のまとめ ④・⑤

(1)

(2)

(3) ①

②

(4)

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

鎌倉時代になると、武士は領地に屋敷を構え、農民を使って ㉑ 農業を営んだ。
 ㉒ 荘園や公領に置かれた幕府の役人が土地や農民を勝手に支配するようになると、領主との間に争いがおこるようになった。
 文化の面では、それまでの ㉓ 繊細で優美な貴族の文化とともに、素朴で力強い文化もおこり、武士の活躍を描いた文学もつくられるようになった。また、成長した民衆や武士の心のよりどころとして、 ㉔ 新しい仏教が広まった。

- (1) 下線部㉑について、鎌倉時代に行われるようになった、同じ田畑で米と麦を交
互につくる農業を何というか。

- (2) 下線部㉒の役人を何というか。

(3) 下線部㉓について、次の書物の名をそれぞれ答えなさい。

- ① 後鳥羽上皇の命令で編集され、西行などの和歌を取めた和歌集

- ② 琵琶法師により語り伝えられた、武士の活躍を描いた文学

- (4) 下線部㉔について、禅宗を広めた僧を次から選び、記号で答えなさい。

ア 日蓮 イ 道元 ウ 親鸞 エ 法然

Key プラス

1 歴史上の人物が語った次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 朝廷の政治に不満を感じた私は、瀬戸内地方で周辺の武士団を率いて反乱をおこしました。

B 私は天皇の位をゆずった後、初めて上皇として政治を行い、摂政や関白の力をおさえました。

C 私は武士として初めて太政大臣の地位につき、娘を天皇のきさきとするなどして権力を強めました。

D 私は鎌倉を本拠地として武士をまとめ、源義経を送って平氏を攻め滅ぼしました。

- (1) A～Dにあてはまる人物名を、それぞれ答えなさい。
- (2) Bのころから現れた、寺社がかかえていた武装した僧を何というか。
- (3) Cの人物が中国との貿易を行うために整備した港を、次から選び、記号で答えなさい。
ア 壇ノ浦 イ 堺 ウ 酒田 エ 兵庫(神戸)
- (4) Dの人物の配下の武士は、幕府などを警備し、Dのために生命をかけて戦った。このような行いを何というか。

2 右の史料を読んで、次の問いに答えなさい。

(1) 史料Ⅰは、ある荘園の農民が下線部⑥の行いを下線部⑤に訴えた訴状の一部である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

- ① 下線部⑤・⑥の間に土地をめぐる争いがあること、幕府は下地中分という裁きを下すことがあった。下地中分とは何か、「半分」の語句を使って、簡単に説明しなさい。
- ② 鎌倉時代に農村で行われるようになった、農作業の新しい試みを次から選び、記号で答えなさい。
ア 青銅器を農具として使った。
イ 石包丁を稲穂のかり取りに使った。
ウ 草木の灰を肥料として使った。
エ 高床倉庫に稲を収めるようになった。

- (2) 史料Ⅱの法令を何というか。
- (3) 史料Ⅱ中の□◎にあてはまる、国ごとに置かれた役職名を答えなさい。
- (4) 1221年に幕府に対して後鳥羽上皇が挙兵したできごとを何というか。また、このできごとの直後、史料Ⅱ中の下線部④に置かれた役所を何というか。
- (5) 史料Ⅲの文学により描かれたものを、次から選び、記号で答えなさい。
ア いきいきとした民衆の姿 イ 平氏などの武士の活躍
ウ 地方の国ごとの自然・産物 エ 貴族の生活の様子

Ⅰ 阿氏河荘の農民の訴状

一 ⑤領主に納める材木のことですが、⑥地頭が上京するとか、あるいは近所の労役だとかいっては、このように人夫として地頭の所でこき使われるので、ひまがないのです。(部分要約)

Ⅱ

一 諸国の□◎の職務は、頼朝公の時代に定められたように、④京都の御所の警備と、謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。(部分要約)

Ⅲ

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらわす。

1の答え

- (1) A.....
B.....
C.....
D.....

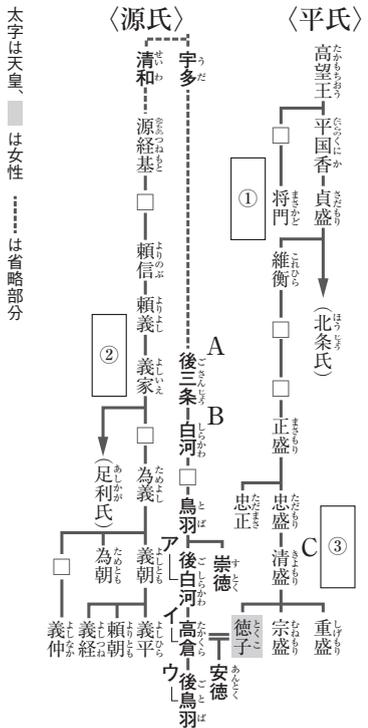
- (2).....
- (3).....
- (4).....

2の答え

- (1) ①.....
- ②.....
- (2).....
- (3).....
- (4) 挙兵.....
役所.....
- (5).....

ここで得点アップ!

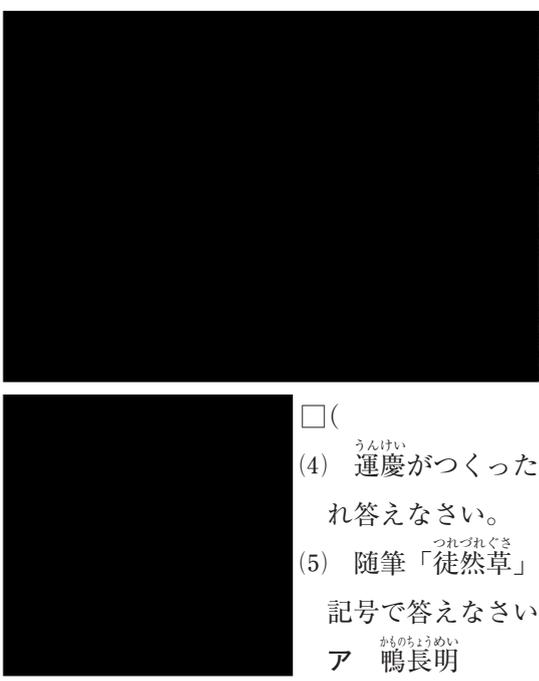
1 左の源氏と平氏の系図を見て、問いに答えなさい。



みなの方、よく聞きなさい。…
公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は山より高く、海より深いものでした。…名誉を大事にする者は、ただちに、逆臣をうち取り、幕府を守りなさい。
 (吾妻鏡)

- (1) 系図中の①～③にあてはまる戦乱について説明したものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。 ①() ②() ③()
- ア 東北地方の武士どうしの争いをきっかけにおこった。
 イ 朝廷の政治に不満を感じる武士団が北関東で反乱をおこした。
 ウ 天智天皇のあとつぎをめぐる対立を原因としておこった。
 エ 天皇と上皇の対立などを原因としておこった。
- (2) 系図中の②の戦乱の後から12世紀前半にかけて、源氏と平氏はどの地域に勢力を広げたか。簡単に説明しなさい。
 ()
- (3) 系図中のA・Bの天皇や上皇について説明したものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。 A() B()
- ア 荘園の増加をおさえるなどの政治改革を行った。
 イ 都を平安京に移した。
 ウ 「新古今和歌集」の編集を命じた。
 エ 上皇となった後、摂政や関白の力をおさえ、初めて院政を行った。
- (4) 系図中の③の戦乱の後、Cがさらに権力を強めた方法を、「娘」の語句を使って簡単に説明しなさい。
 ()
- (5) 左の史料は、ある戦乱に際して北条政子が行った演説の内容である。この戦乱を引き起こした人物を系図中のア～ウから選び、記号で答えなさい。 ()
- (6) 史料中のにあてはまる人物名を、系図中から選んで答えなさい。
 ()

2 左の資料を見て、問いに答えなさい。



- (1) 資料Iの→に描かれている、時宗を開き、諸国をめぐり歩いて信仰をすすめた僧はだれか。 ()
- (2) (1)の僧が重んじたものを、次から選び、記号で答えなさい。
 ア 「南無阿弥陀仏」という念仏 ()
 イ 神仏習合 ウ 座禅 エ 法華経の題目
- (3) 資料Iのころ、商業ではどのような動きが見られるようになったか。資料Iを参考にし、「定期市」と「寺社」、「交通」の3つの語句を使って簡単に説明しなさい。
 ()
- (4) 運慶がつくった資料IIの彫刻作品の名と、この彫刻が収められた建物の名をそれぞれ答えなさい。 彫刻() 建物()
- (5) 随筆「徒然草」の中で、いきいきとした民衆の姿を取り上げた人物を、次から選び、記号で答えなさい。 ()
- ア 鴨長明 イ 兼好法師 ウ 西行 エ 藤原定家